

2 特別な支援を要する子どもたちについて

- ①特別支援教育に対する学校長の理解とリーダーシップの醸成及び教員の育成や資質の向上などによる専門性を持った人材の確保に積極的に取り組むこと。また、保護者への特別支援教育に対する理解の浸透を図ること。
- ②今後も増加が見込まれる5歳児健診後の支援が必要な子どもたちへ適切な支援が行われるように、計画的に通級指導教室の増設を図ること。

3 文化振興の取組について

- ①子どもたちを含めた幅広い世代の文化意識の高揚と育成につながる取り組みを検討し、次世代の文化芸術の振興を担う人材の育成を図ること。

4 斎苑について

- ①本市の新たな斎苑の整備については、最期のお別れの施設として、心安らぐ特別な空間を提供するという考え方を踏まえ、PFI手法の導入などコスト面を考慮した上で、検討を行うこと。
- ②市民のニーズを調査し、ペット火葬の導入について検討すること。



地域福祉委員会

1 子育て支援について

- ①保育人材バンクや保育士を目指す学生を対象とした奨学金貸付制度など、潜在保育士や新規採用保育士の人材確保を目的とした事業の実施について検討すること。
- ②現職保育士の相談体制を拡充するなど、保育士支援体制の改善を検討すること。
- ③公立保育所が主体となり医療的ケア児の保育を担っていくなど、公立の役割を明確化し運営を進めていくこと。
- ④つどいの広場事業について、地域の子育て支援機能として一層の充実を図り、年々増加する利用者数や相談件数、複雑化する相談内容に対応できるよう、利用状況等の把握に努めるとともに、委託事業の内容を検討すること。



2 認知症への取組について

- ①認知症の早期発見・早期治療のため、電力などのスマートメーターとAIを活用したフレイル検知サービスについて、費用対効果などを十分調査した上で、導入に向けて検討すること。
- ②医療機関や医師会とより連携を密にしながら、認知症簡易チェックサイトの周知・改善を図り、認知症の早期発見・早期受診につながるよう取り組みを進めていくこと。
- ③GPS端末による行方不明高齢者家族支援サービス事業について、対象者への周知を徹底するとともに、より利用しやすい機器の選択や費用負担、活用方法について検討し、利用者の増加につなげること。